

北里大学医学部 整形外科

たかそう まさし
高相 晶士 教授

「小さくても創意を」をモットーに
最先端の医療を最高の環境で

北里大学がある相模原市は政令指定都市であるものの、市民病院がありません。このため、北里大学医学部整形外科には通常であれば一般病院で加療される軽症例から、極めて専門的な治療が必要とされる特殊な症例まで、幅広くかつ多くの症例が集まることが大きな特徴です。

現在の1日平均入院患者数は約80名、1日平均外来患者数は約240名、年間手術数は約1200例と、1大学病院としては全国有数の症例数です。医局員はすべての領域において、最新の知識と技術を習得する努力を継続しており、結果として研修医も多様な症例を数多く経験し、さらに最新の知識と腕を、日々の業務の中で着実に磨いていくことができる環境が提供されています。

現在、整形外科の診療は北里大学病院と大学病院から約500mの距離にある北里大学東病院に分かれて行われていますが、2015年1月より整形外科の診療は新北里大学病院 (<http://www.khp.kitasato-u.ac.jp/newhospital/>) に統合される予定となっています。新北里大学病院は1033床を誇るアジア最大級の病院として今年5月7日にオープンをしたばかりであり、日本で最も先進的なコンセプトと高度先進医療機器を備えた医療環境の中で、全国的にトップク

ラスとなる整形外科医療を行うこととなります。

教室の主な診療、研究テーマとしては、脊椎外科(脊柱変形、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、骨粗鬆症など)、関節外科(人工股・膝関節置換術、上肢の関節外科)、外傷外科、小児整形外科、スポーツ整形外科などがあります。

高相晶士教授の専門である脊柱変形(側湾症)は、特殊な分野でありながら、多数に上る英語論文や手術件数の積み上げがあります。人工関節に頼らない股関節の再生手術である骨切り術では、全国有数の成果を上げています。

北里大学病院は全国有数の高度救命救急センターを有しているのも大きな特徴で、整形外科からは現在3名の専従スタッフと1名の研修医が派遣されています。当教室は初代教授の山本真教授の時代より、「外傷の北里」として日本の外傷研究、教育を牽引してきた歴史があり、大学病院レベルでの外傷専

門教育を行っている施設は全国的にも珍しいと思います。また、東日本で唯一の日本組織移植学会認定組織である「北里大学病院骨バンク」を管理運営しており、骨・腱などの組織移植、再生医療の研究も積極的に行っています。国内外の学会に積極的に参加し、多数の学会賞も獲得しています。

教室のモットーとして「小さくても創意を」という言葉が語り継がれており、何か自分らしいプラスアルファを付け加える努力を大切にしています。研修医でも積極的に外来診療や手術ができる環境であり、先輩医師からのバックアップ体制を整え、色々なことに安心してチャレンジできます。若い医師であっても、良いアイデアは遠慮せずに出し合える自由な雰囲気があり、患者さんのために良いと思われるアイデアは採用するフレキシブルな指導医がそろっています。 文責：福島健介

DATA

北里大学医学部整形外科

所在地：〒252-0374

神奈川県相模原市南区北里1-15-1

URL：<http://www.kitasato-orthopsurg.jp>

E-mail：katsufu@cf6.so-net.ne.jp

(医局長 内山勝文)

構成：医局員数／63名、指導医数／50名
研修医数／13名